

2 月 5 日：反発期待も、ベトナム株はまちまちの動き

コロナウイルスの影響のさらなる進展を見極めようと投資家の様子見姿勢が広がったことで、ベトナム株はほぼ変わらずで取引を終えた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.34% 下落し 925.91 ポイントで取引を終えた。ハノイ取引所の HNX 指数は 0.60% 上昇し 103.19 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は火曜日には 0.10% 上昇しており HNX 指数は 2 日で 1.85% の上昇となった。

出来高は 2 億 3400 万株で売買代金にして 4.72 兆ドンほどであった。

11 セクターが下落した。農業、ゴム、ヘルスケア医薬品などであった。

それらのセクターの中で、農業セクター指数は 4.4% の下落となった。コロナウイルスによる中国へ輸出する農業生産品への悪影響は避けられないことが原因となった。

医薬品株はウイルスによる懸念で上昇していたが、前日の取引では値下がりした。

DHG 製薬 (DHG)、ハタイ製薬 (DHT)、ドメスコ医薬品輸出入 (DMC) は 4.5-7% ほどの下落となった。

一方、保険、鉱業エネルギー、飲食料、水産加工、電力などのセクターは市場を押し上げた。

上昇した大型銘柄はバオベトホールディングス (BVH)、ビナミルク (VNM)、FPT コーポレーション (FPT) などであった。

VN ダイレクト証券によると、ベトナム株のまちまちの動きはアジアから欧州・米国の株式市場の動きがばらばらなことが要因だと思われるとのことだった。

世界的に見れば市場心理に与える影響は限定的で、そのことを金などの貴金属価格が上昇していないことが示していると同社は報じた。

同社はしかしベトナム市場ではコロナウイルスへの懸念が大きいと語った。

経済刺激策への期待が広がる中で、国債が魅力的な投資先となるだろうとも語った。

短期的には底値に近付いており、数日の反発が期待できると同社は予想した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。